

招待講演



6月10日（土） 10:00 ～ 10:30 第1会場

伝教大師最澄さまの御心

座長：赤路 健一（京都薬科大学学長）

演者：小堀 光實（三千院門跡門主（住職））

特別講演



6月11日（日） 13:45 ～ 14:45 第1会場

決断力を磨く

座長：四方 敬介（京都府立医科大学附属病院）

演者：羽生 善治（将棋棋士、永世七冠、国民栄誉賞受賞者）

大会長講演



6月10日（土） 9:45 ～ 10:00 第1会場

SDGs 大会運営に向けて ～つらい立場の人を誰一人取り残さないために～

座長：石井 伊都子（千葉大学医学部附属病院薬剤部）

演者：四方 敬介（京都府立医科大学附属病院）

教育講演1



6月10日（土） 16:45 ～ 17:45 第1会場

医薬品情報のインフォデミック対策で 薬剤師はいかに行動すべきか

座長：小阪 直史（京都府立医科大学附属病院薬剤部）

演者：市川 衛（一般社団法人メディカルジャーナリズム 勉強会、広島大学医学部（公衆衛生学））

教育講演2



6月10日（土） 16:45 ～ 17:45 第2会場

医薬品情報学研究の最前線

座長：矢野 良一（大阪医科薬科大学薬学部）

演者：真野 泰成（東京理科大学薬学部臨床薬剤情報学研究室）

教育講演3



6月10日（土） 16:45 ～ 17:45 第3会場

国が主導する「全国医療情報プラットフォーム」における薬剤師の 役割

座長：松浦 正佳（サエラ薬局）

演者：中島 直樹（九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター）

教育講演4



6月11日（日） 15:00 ～ 16:00 第2会場

製薬医学2030：医療が多様化・個別化する デジタル社会における医薬品情報

座長：辻本 千代美（福地会もみじヶ丘病院薬剤部）

演者：芹生 卓（京都薬科大学、APCER Life Sciences、医薬品開発能力促進機構）

教育講演5



6月11日（日） 15:00 ～ 16:00 第3会場

医薬品情報を最大限に活かすための コミュニケーション能力を育てる

座長：富永 日輪（大阪みなと中央病院薬剤部）

演者：井手口 直子（帝京平成大学）

教育講演6



6月11日（日） 15:00 ～ 16:00 第4会場

医療ビッグデータを用いた医薬品等の 安全性評価（薬剤疫学）について

座長：村木 優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

演者：小出 大介（東京大学大学院医学系研究科生物統計情報学講座）

大会長企画シンポジウム



6月11日（日） 10:45 ～ 12:15 第4会場

SDGsを自分事に！

座長：三浦 誠（洛和会音羽病院薬剤部）

渡邊 大記（ダイガク薬局）

PPS-1 SDGs・持続可能な会議運営への挑戦

浅利 美鈴（京都大学）

PPS-2 第一三共グループのサステナビリティとSDGsへの貢献

原田 径子（第一三共株式会社）

PPS-3 「人にやさしい、環境にやさしいパッケージ開発」

跡治 立多（富山スガキ株式会社企画制作部・医薬情報室）

シンポジウム

6月10日（土） 10:45 ～ 12:15 第1会場



シンポジウム1

医薬品情報を構造化する！ ～サステナブルな構造化された医薬品情報への取り組み～

座長：山本 美智子（熊本大学大学院生命科学研究部（薬学系））

青柳 吉博（国立がん研究センター東病院臨床研究支援部門 臨床研究推進部システム管理室）

オーガナイザー：若林 進（杏林大学医学部附属病院薬剤部）

S1-1 サステナブルな構造化された医薬品情報への取り組み

若林 進（杏林大学医学部附属病院薬剤部）

S1-2 医薬品関連文書の利活用に向けたインタビューフォームの構造化の試み

長尾 知生子（大阪大学蛋白質研究所計算生物学研究室）

S1-3 CTD(Common Technical Document)の構造化は必要か？

岡本 里香（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系ビッグデータ医科学分野、
神戸医療産業都市推進機構医療イノベーション推進センター医療開発研究グループ・デジタルイノベーショングループ）

S1-4 国際標準規格 FHIR の医薬品情報への導入検討

松井 理恵（ファイザー R&D 合同会社）

S1-5 添付文書情報と FHIR との適切な関係とは

高田 敦史（九州大学病院メディカルインフォメーションセンター）

6月10日（土） 10:45 ～ 12:15 第2会場



シンポジウム2

改訂コアカリで求められる医薬品情報学の能力と 効果的な教育実践の共有

座長：大津 史子（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）

小林 道也（北海道医療大学薬学部）

オーガナイザー：大津 史子（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）

S2-1 改訂コアカリで求められる医薬品情報学の能力

大津 史子（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）

S2-2 フォーミュラーが作成できる薬剤師の育成を目指して：北里大学病院実務実習での試み

岩澤 真紀子（北里大学薬学部）

S2-3 医療ビッグデータやデータサイエンスに関する教育への取り組みと今後の展望

酒井 隆全 (名城大学薬学部医薬品情報学研究室)

S2-4 D-3-4 医薬品情報の応用と創生：研究計画の立案をどのように教育するか？

今井 俊吾 (慶應義塾大学薬学部)

6月10日 (土) 10:45 ~ 12:15 第3会場



シンポジウム3

集中治療における医薬品情報活用のノウハウ
～決断するために必要な情報とは！？～

座長：岩内 大佑 (洛和会音羽病院薬剤部)

野崎 歩 (京都桂病院経営戦略室)

オーガナイザー：三浦 誠 (洛和会音羽病院薬剤部)

S3-1 ICU担当とDIの連携のコツ DI室の立場から

吉川 博 (広島大学病院薬剤部)

S3-2 集中治療における医薬品適応外使用に医薬品情報をいかに活用するか

加藤 隆寛 (愛知医科大学病院薬剤部)

S3-3 集中治療室におけるせん妄患者に対する医薬品情報活用術 ～まずは患者状態の把握を～

岩内 大佑 (洛和会音羽病院薬剤部)

S3-4 医薬品情報 × 集中治療における予防的薬物療法 ―集中治療担当薬剤師の頭の中―

川邊 一寛 (横浜市立大学附属病院薬剤部)

6月10日 (土) 13:45 ~ 15:15 第1会場



シンポジウム4

医療現場において新医薬品をどのように評価したら良いのか

座長：大野 能之 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

安野 伸浩 (帝京大学医学部附属病院薬剤部)

オーガナイザー：大野 能之 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

S4-1 新医薬品における「開発の経緯・製品特性」「薬効・薬理」の評価のポイント

大野 能之 (東京大学医学部附属病院薬剤部)

S4-2 新医薬品における「臨床試験」の評価のポイント

富田 隆志 (広島大学病院薬剤部)

S4-3 新医薬品における「薬物動態・PK/PD」の評価のポイント

近藤 悠希 (熊本大学大学院生命科学研究部)

S4-4 新医薬品における「妊婦・授乳婦への投与」の評価のポイント

小原 拓（東北大学病院薬剤部、東北大学大学院医学系研究科分子疫学分野、
東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門）

S4-5 新医薬品における「製剤学的事項」の評価のポイント

鈴木 貴明（千葉大学医学部附属病院薬剤部）

6月10日（土） 13:45 ～ 15:15 第2会場



シンポジウム5

電子添文(e 添文)の活用イノベーションに向けた現状と課題

座長：佐藤 弘康（JA北海道厚生連網走厚生病院薬剤科）
山中 理（市立大津市民病院薬剤部）

オーガナイザー：宮村 信輝（データインデックス株式会社）

S5-1 電子添文における情報リテラシーを考える～意識調査と教育的指導を通して～

木村 天祐（五日市記念病院臨床薬剤科）

S5-2 これからの薬局における医薬品情報（添付文書）の取扱いについて

鈴木 高弘（横浜薬科大学薬学部実務実習センター、
一般社団法人医療安全推進機構医療安全国際研究所有期研究員）

S5-3 医療DXを行うための医薬品情報の課題（現場から）

山中 理（市立大津市民病院薬剤部・医療情報システム室・医薬品情報管理室）

S5-4 電子添文の医療情報システムにおけるデジタルな利活用の現状と課題

寺内 恭平（メディカルデータベース株式会社）

S5-5 製薬業界における医療用医薬品添付文書電子化の取り組みの現状と課題・今後の展望

滝田 諭（日本製薬団体連合会安全性委員会、エーザイ（株））

6月10日（土） 13:45 ～ 15:15 第3会場



シンポジウム6

医療用医薬品の販売情報提供活動に関する ガイドラインへの対応とMRの存在意義

座長：林 昌洋（国家公務員共済組合連合会虎の門病院）

オーガナイザー：近澤 洋平（MR認定センター）

S6-1 医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインへの対応とMRの存在意義

近澤 洋平（MR認定センター）

S6-2 医薬品情報提供活動の現状と課題 - ガイドラインと臨床現場の葛藤 -

長谷川 晃司（京都中部総合医療センター薬剤部）

- S6-3 販売情報提供活動ガイドラインへの対応とMRの存在意義～製薬業界の立場として
石田 佳之（日本製薬工業協会）
- S6-4 医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインへの対応（行政の立場から）
佐藤 大作（厚生労働省）

6月11日（日） 9:00～10:30 第1会場



シンポジウム7

医薬品の適切なリスク管理のために何をしていますか？ ～RMPの適切な利活用を目指して～

座長：金井 紀仁（新座病院薬剤科）
高橋 一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科）

オーガナイザー：大幸 淳¹、後藤 伸之²（¹済生会横浜市東部病院薬剤部、²福井大学医学部附属病院）

- S7-1 作成する製薬企業の立場から（総論）
竹本 信也（日本製薬工業協会医薬品評価委員会PV部会KT1（中外製薬））
- S7-2 利活用する医療機関の立場から（総論）
佐藤 弘康（JA北海道厚生連網走厚生病院）
- S7-3 RMPを利活用した医薬品適正使用に向けた取り組み
川名 真理子（医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部）
- S7-4 RMPの医療現場における利活用に向けた取り組み
鈴木 信也（横浜市立みなと赤十字病院）

6月11日（日） 9:00～10:30 第2会場



シンポジウム8

小児医療に対する医薬品情報のこれから

座長：山谷 明正（明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門小児周産期薬学）
山本 宏（国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター薬剤部）

オーガナイザー：山谷 明正（明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門小児周産期薬学）

- S8-1 小児医療現場で活用できる医薬品情報を考える
岩西 雄大（大阪母子医療センター薬局）
- S8-2 未承認新規医薬品等使用評価委員会における情報提供活動
稲吉 美由紀（国立研究開発法人国立成育医療研究センター）
- S8-3 小児医療におけるPK/PD情報活用の可能性
齊藤 順平（国立成育医療研究センター薬剤部）
- S8-4 小児医療における医薬品情報提供の実際
松田 和貴（高田製薬株式会社）

シンポジウム9

どうする、外国人患者へのリスクコミュニケーション ～外国人対応の実際から、今後の展開を考える～

座長：俵木登美子（くすりの適正使用協議会）

オーガナイザー：俵木登美子（くすりの適正使用協議会）

S9-1 外国人患者に対する薬剤師の対応実態調査

栗原 理（（一社）くすりの適正使用協議会くすりのしおりコンコーダンス委員会）

S9-2 石川県薬剤師会「外国語応対のためのツール集」の実践的活用について

山崎 敏誉（公益社団法人石川県薬剤師会、株式会社瑠璃光瑠璃光薬局基石ヶ峰登り口店）

S9-3 外国人患者さんのフォロー 翻訳ツール等は安全？ 言語の先には何をみる？

池浦 恵（ウェルパーク薬局東浦和駅前店）

S9-4 外国人患者への説明に役立つ「やさしい日本語」

武田 裕子（順天堂大学大学院医学研究科、医療×「やさしい日本語」研究会）

シンポジウム10

シン・トレーシングレポート ～薬剤情報連携の課題と今後の展開～

座長：荒木 隆一（市立敦賀病院）

小枝 伸行（八尾市立病院）

オーガナイザー：小川 充恵（八尾市立病院）

イントロ～心～

荒木 隆一（市立敦賀病院）

S10-1 トレーシングレポートの成り立ちと、とある一般的な中小病院での「真」の姿（現状）

岸本 真（霧島市立医師会医療センター薬剤部）

S10-2 シン・トレーシングレポート ～当院は、どう“進”んできたのか？～

岡橋 孝侍（京都第二赤十字病院薬剤部／医療情報室）

S10-3 シン（辛）・トレーシングレポート～現在の取り組みと今後のTRのあるべき姿～

小川 充恵（八尾市立病院）

S10-4 トレーシングレポートを駆使した「新」たな医療情報交換の展望

高田 敦史（九州大学病院メディカル・インフォメーションセンター）

シンポジウム11

「世界患者安全チャレンジ：ケアの移行期の薬剤安全」を 薬薬連携・ICT活用から考える

座長：松村 由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部）

畑 武生（大阪医科薬科大学病院薬剤部／医療総合管理部医療安全推進室）

オーガナイザー：松村 由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部）

S11-1 ケアの移行期の薬剤安全：お薬手帳を活用したサステナブルな薬薬連携

松村 由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部）

S11-2 ケアの移行期の薬剤安全を志向した医療情報システム：
お薬手帳_ver.1.xから2.0へ

畑 武生（大阪医科薬科大学病院薬剤部、大阪医科薬科大学病院医療総合管理部医療安全推進室）

S11-3 ケア移行期の薬剤安全を確保する ～病院薬剤師の役割と課題～

深津 祥央（京都大学医学部附属病院薬剤部）

S11-4 患者安全と薬剤安全、どうする薬剤師、どうなる情報連携

中林 保（京都府薬剤師会常務理事・おれんじ薬局）

S11-5 電子版お薬手帳のこれまでとこれから ～薬薬連携にむけて～

島田 昌典（harmo 株式会社）

シンポジウム12

周術期医療における医薬品情報活用のノウハウ

座長：柴田 ゆうか（広島大学病院）

猪田 宏美（岡山大学病院）

オーガナイザー：猪田 宏美（岡山大学病院）

S12-1 洛和会丸太町病院における周術期の医薬品情報活用

起塚 美沙（洛和会丸太町病院薬剤部）

S12-2 疑義照会履歴管理システムを用いた周術期薬剤管理への介入について

河崎 尚史（大阪公立大学医学部附属病院薬剤部）

S12-3 がん分子標的薬の周術期使用に関する情報について

田中 雄太（岡山大学病院薬剤部）

S12-4 地域を巻き込んで情報共有を進める「周術期の安全な薬剤管理を考える会」の取り組み

赤木 晋介（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部、
倉敷連合薬剤師会（周術期の安全な薬剤管理を考える会）、岡山県病院薬剤師会 DI 委員会）

シンポジウム 13

有害事象自発報告データベースを上手に使った 研究や業務への活かし方と課題

座長：細見 光一（近畿大学薬学部）

村木 優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

オーガナイザー：村木 優一（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

S13-1 実例に基づく有害事象自発報告データベースを用いた臨床的疑問の解決法と注意点

冢瀬 諒（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

S13-2 臨床で見つけた疑問を研究に昇華する：有害事象自発報告データベースの活用と注意点

岡田 直人（山口大学医学部附属病院薬剤部）

S13-3 自発報告データベースを利用した研究の実施・解釈にあたり留意すべきこと

酒井 隆全（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）

S13-4 化学的着想に基づく有害事象報告データベースを用いた仮説生成と創薬研究への展望

清水 忠（兵庫医科大学大学院薬学研究科）

シンポジウム 14

中小病院のDI室ってどうしたらいいの？ ～サステナブルなDI業務を紡ぐには～

座長：若林 進（杏林大学医学部附属病院薬剤部）

荒 義昭（国立病院機構信州上田医療センター薬剤部）

オーガナイザー：大庭 理寛（JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院薬局）

S14-1 中小病院のDI室ってどうしたらいいの？

若林 進（杏林大学医学部附属病院薬剤部）

S14-2 フォーミュラリへの取り組みとDI室運用

磯貝 一成（日野市立病院薬剤部）

S14-3 未承認医薬品等の管理体制から考えるこれからのDI室運用

西 美帆（済生会山口総合病院薬剤部）

S14-4 医療情報システムの活用とDI室運用について

山中 理（市立大津市民病院薬剤部・医療情報システム室・医薬品情報管理室）

S14-5 中小病院でサステナブルなDI業務を紡ぐには

大庭 理寛（JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院薬局）

シンポジウム 15

拝見！隣の医薬品情報管理室

座長：深津 祥央（京都大学医学部附属病院薬剤部）
大林 巧志（京都第一赤十字病院薬剤部）

オーガナイザー：大林 巧志（京都第一赤十字病院薬剤部）

S15-1 拝見！隣の医薬品情報管理室 Part1 ～京都府立医科大学附属病院編～

芝田 雄登（京都府立医科大学附属病院薬剤部）

S15-2 拝見！隣の医薬品情報管理室 Part2 ～精神科単科病院編～

辻本 千代美（医療法人福知会もみじヶ丘病院薬剤部）

S15-3 拝見！隣の医薬品情報管理室 Part3 ～地域中核病院編～

武田 智子（京都中部総合医療センター薬剤部）

S15-4 拝見！隣の医薬品情報管理室 Part4 ～中小ケアミックス病院編～

北野 詩織（愛生会山科病院薬剤部）

特別企画

6月10日（土） 10:45 ～ 12:15 第5会場



特別企画1

臨床推論に基づいた副作用の考え方と副作用報告

座長：三浦 誠（洛和会音羽病院薬剤部）

SP1-1 臨床推論に基づいた副作用の考え方と副作用報告

北原 加奈之（亀田総合病院薬剤部）

6月11日（日） 13:45 ～ 15:15 第5会場



特別企画2

「JASDI 若手の会」の活動について ～日常業務の悩みを話しませんか～

座長：内倉 健（昭和大学薬学部病院薬剤学講座）

SP2-1 「JASDI 若手の会」の活動について～議論を通じた交流を目指して～

内倉 健（昭和大学薬学部病院薬剤学講座）

SP2-2 「JASDI 若手の会」の活動について～中小病院DI室に勤務する立場から～

大庭 理寛（JA 神奈川県厚生連伊勢原協同病院薬局）

SP2-3 医薬品情報室"業務の今とこれからを考える ～日常業務を支えるDI連携の可能性～"

大幸 淳（済生会横浜市東部病院薬剤部）

SP2-4 「JASDI 若手の会」の活動について ～調剤薬局薬剤師から見たDI活動～

鈴木 すみれ（株式会社なの花東北事業部）

ハンズオンセミナー

6月10日（土） 13:45 ～ 15:15 第5会場



ハンズオンセミナー 1

アンケートデータの入力・集計・解析

座長：木下 淳（兵庫医科大学薬学部）

アンケートデータの入力・集計・解析

波多江 崇（中国学園大学現代生活学部人間栄養学科）

6月10日（土） 16:15 ～ 17:45 第5会場



ハンズオンセミナー 2

ゼロから始めるプログラミング ～興味はあるけれどきっかけがつかめない人に～

座長：岡橋 孝侍（京都第二赤十字病院薬剤部／医療情報室）

ゼロから始めるプログラミング ～興味はあるけれどきっかけがつかめない人に～

初田 泰敏（大阪大谷大学薬学部）

ベーシックレクチャー

6月10日（土） 10:45 ～ 11:15 第4会場



ベーシックレクチャー 1

医薬品情報を読み解くための「薬化学」

座長：長谷川 晃司（京都中部総合医療センター薬剤部）

演者：古田 巧（京都薬科大学創薬科学系薬化学分野）

6月10日（土） 11:15 ～ 11:45 第4会場



ベーシックレクチャー 2

医薬品情報を読み解くための「薬物動態学」

座長：橋元 誠（三菱京都病院）

演者：河渕 真治（京都薬科大学薬物動態学分野）

6月10日（土） 11:45 ～ 12:15 第4会場



ベーシックレクチャー 3

医薬品情報を読み解くための「生物薬剤学」

座長：栞原 晶子（武庫川女子大学薬学部）

演者：本橋 秀之（大阪医科薬科大学薬学部）

6月10日（土） 13:45 ～ 14:15 第4会場



ベーシックレクチャー 4

審査報告とは。どんな時に利用できるか。

座長：角山 香織（大阪医科薬科大学薬学部）

演者：望月 眞弓（慶應義塾大学名誉教授）

6月10日（土） 14:15 ～ 14:45 第4会場



ベーシックレクチャー 5

新人薬剤師でもできる新薬評価 電子添文と新医薬品の薬価算定の利活用！

座長：池田 和之（奈良県立医科大学附属病院薬剤部）

演者：後藤 伸之（福井大学医学部附属病院）

6月10日（土） 14:45 ～ 15:15 第4会場



ベーシックレクチャー 6

添付文書、IF と情報リテラシー ～妊婦・授乳婦の適正な服用可否～

座長：仁丹 裕子（亀岡市立病院薬剤科）

演者：大津 史子（名城大学薬学部）

6月10日（土） 16:45 ～ 17:15 第4会場



ベーシックレクチャー 7

日常業務で役立つ、医薬品情報検索ツール

座長：橋詰 勉（京都薬科大学臨床薬学教育研究センター）

演者：鈴木 信也（横浜市立みなと赤十字病院薬剤部）

6月10日（土） 17:15 ～ 17:45 第4会場



ベーシックレクチャー 8

諦めない配合変化

座長：西口 工司（京都薬科大学臨床薬学分野）

演者：相澤 学（関東中央病院薬剤部）

6月11日（日） 10:00 ～ 10:30 第4会場



ベーシックレクチャー 9

薬物相互作用の考え方

座長：冨瀬 諒（京都薬科大学臨床薬剤疫学分野）

演者：大野 能之（東京大学医学部附属病院薬剤部）

Meet The MR

6月10日（土） 16:45 ～ 17:45 創立130周年記念館



Meet The MR

すべての人に健康と福祉を ～薬剤師と企業をつなぐ医薬品情報～

座長：深津 祥央（京都大学医学部附属病院薬剤部）

保険薬局の立場から

演者：中西 昭人（こぐま薬局）

慢性期・回復期病院の立場から

演者：須田 慈子（六地藏総合病院）

薬事情報センターの立場から

演者：二宮 麻美子（京都府薬剤師会薬事情報センター）

急性期病院の立場から

演者：長谷川 晃司（京都中部総合医療センター薬剤部）

6月11日（日） 9:30 ～ 10:30 創立130周年記念館



Meet The MR

働きがいも経済成長も ～伝えた医薬品情報はどう活用されるのか～

座長：黄前 尚樹（洛和会音羽病院薬剤部）

医薬品情報管理業務の実際について深く学ぶ

演者：大林 巧志（京都第一赤十字病院薬剤部）

ディスカッサント：尾濱 直子（洛和会音羽病院薬剤部）

ディスカッサント：升田 万祐子（京都市立病院薬剤科）



Meet The MR

住み続けられるまちづくりを ～専門薬剤師と共に街と薬を育てる～

座長：橋元 誠（三菱京都病院）

がん薬物療法認定薬剤師・専門薬剤師

演者：野口 裕介（京都第二赤十字病院薬剤部）

心不全療養指導士

演者：西垣 美沙（武田病院薬局）

地域連携薬局

演者：青木 裕明（お～ろら薬局）

メディカルセミナー

6月10日（土） 12:30 ～ 13:30 第1会場



メディカルセミナー 1

医療用アプリを用いてのe-PRO、有害事象の早期発見と対処

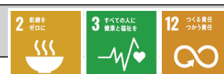
座長：寺田 智祐（京都大学医学部附属病院）

患者とつながる医療用アプリ ～有害事象管理の実践～

演者：松田 日出三（藤田医科大学病院 薬剤部）

共催：中外製薬株式会社

6月10日（土） 12:30 ～ 13:30 第2会場



メディカルセミナー 2

バイオシミラー

座長：小林 由佳（京都桂病院薬剤科）

バイオシミラーの評価ポイントと使用促進に向けた取り組み： 超速効型インスリンバイオシミラーを含めて

演者：川上 純一（浜松医科大学医学部附属病院）

共催：サノフィ株式会社

6月10日（土） 12:30 ～ 13:30 第3会場



メディカルセミナー 3

フォーミュラリー関連

座長：四方 敬介（京都府立医科大学附属病院薬剤部）

藤田医科大学病院におけるフォーミュラリーの取り組みについて ～抗アレルギー薬を中心に～

演者：山田 成樹（藤田医科大学病院薬剤部）

共催：東和薬品株式会社

6月10日（土） 12:30～13:30 第4会場



メディカルセミナー 4

～乾癬治療に新しい道すじを～

座長：森田 真也（滋賀医科大学医学部附属病院薬剤部）

皮膚T細胞と乾癬

演者：渡邊 玲（大阪大学大学院医学系研究科アレルギー免疫疾患統合医療学寄附講座）

乾癬治療におけるTYK2阻害薬の位置づけ：ソーティクツの有効性、安全性への期待

演者：江川 形平（京都大学医学研究科医学専攻皮膚生命科学講座皮膚科学）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

6月11日（日） 12:30～13:30 第1会場



メディカルセミナー 5

Value based pricing について

座長：友金 幹視（京都第二赤十字病院薬剤部）

Value Based Healthcare と費用対効果～ボノプラザンの位置づけを考える～

演者：五十嵐 中（横浜市立大学医学群公衆衛生学／東京大学大学院薬学系研究科）

共催：武田薬品工業株式会社／大塚製薬株式会社

6月11日（日） 12:30～13:30 第2会場



メディカルセミナー 6

小児神経領域、希少疾病医薬品について

座長：土谷 有美（京都第一赤十字病院薬剤部）

Duchenne 型筋ジストロフィーの薬物治療

演者：白石 一浩（宇多野病院小児神経科）

共催：日本新薬株式会社

6月11日（日） 12:30～13:30 第3会場



メディカルセミナー 7

抗真菌薬

座長：小阪 直史（京都府立医科大学附属病院 薬剤部）

急性白血病・移植における真菌感染症の予防と治療 ～薬物相互作用を考慮した治療戦略～

演者：諫田 淳也（京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学）

共催：旭化成ファーマ株式会社



メディカルセミナー 8

バイオシミラーについて考える

座長：上田 豊実（大津赤十字病院 薬剤部）

薬剤師目線から考えるバイオシミラー

演者：大林 巧志（京都第一赤十字病院 薬剤部）

医師目線から考えるバイオシミラー

演者：内山 和彦（京都府立医科大学 消化器内科学教室）

共催：日本化薬株式会社

サステナビリティセミナー

6月10日（土） 15：30～16：30 第1会場



サステナビリティセミナー 1

薬剤師の処方支援・提案

座長：三浦 誠（洛和会音羽病院薬剤部）

医薬品情報の活用を通じた標準薬物治療の推進（DPP-4 阻害薬、SGLT2 阻害薬を中心に）
～薬剤師職能の発揮～

演者：小口 正義（諏訪赤十字病院 薬剤部 調剤課）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

6月10日（土） 15：30～16：30 第2会場



サステナビリティセミナー 2

医薬品の品質確保・安定供給に関する課題と対策について ～流通の課題も踏まえ～

座長：竹上 学（近畿大学病院薬剤部）

医薬品の安定供給に係る行政の取組み

演者：山本 剛（厚生労働省 医政局医薬産業振興・医療情報企画課）

「ジェネリック医薬品の信頼回復」に向けた日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて

演者：田中 俊幸（日本ジェネリック製薬協会 広報委員会）

共催：日本ジェネリック製薬協会

6月10日（土） 15：30～16：30 第3会場



サステナビリティセミナー 3

座長：奥田 真弘（大阪大学医学部附属病院 薬剤部）

『フォーミュラリの実際と今後の展望』～医薬品使用の標準化とその効果を考える～

演者：小池 博文（横浜市立大学附属病院 薬剤部）

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

6月10日（土） 15：30～16：30 第4会場



サステナビリティセミナー 4

入院患者の不眠に対する超実践的アプローチ ーせん妄リスク対策も含めてー

座長：高橋 一栄（大阪府済生会野江病院薬剤科）

入院患者の不眠に対する超実践的アプローチーせん妄リスク対策も含めてー

演者：井上 真一郎（新見公立大学健康科学部看護学科）

共催：エーザイ株式会社

6月11日（日） 13:45～14:45 第2会場



サステナビリティセミナー 5

健康食品をセルフケアに活用するために

座長：山田 浩（静岡県立大学薬学部）

演者：梅垣 敬三（静岡県立大学薬食研究推進センター）

共催：サントリーウエルネス株式会社

6月11日（日） 13:45～14:45 第3会場



サステナビリティセミナー 6

抗アルドステロン薬ではないの？ ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬（MRA）について考える

座長：大森 清孝（洛和会東寺南病院薬剤部）

演者：石原 正治（兵庫医科大学循環器・腎透析内科学講座）

共催：バイエル薬品株式会社

6月11日（日） 13:45～14:45 第4会場



サステナビリティセミナー 7

医療・薬局 DX 時代に向けた薬剤師の業務改革を考える ～薬局での医薬品情報収集における課題と効果的な情報活用事例～

座長：竹中 孝行（薬局支援協会）

演者：神崎 年木（ゴダイ株式会社 ゴダイ薬局）

演者：浅野 莉穂（株式会社ネクスウェイ 医薬情報事業部）

共催：株式会社ネクスウェイ

優秀演題セッション

6月11日（日） 9:00 ～ 10:00 第4会場

優秀演題セッション

座長：橋詰 勉（京都薬科大学臨床薬学教育研究センター）
長谷川 晃司（京都中部総合医療センター薬剤部）

- O-1 薬学生向け教育用ゲームアプリケーションの作成
石倉 綺理伽（大阪大谷大学薬学部）
- O-2 抗凝固療法の適正化を志向した直接第Xa因子阻害薬の血中濃度簡易測定法の開発
片桐 文彦（東京薬科大学薬学部臨床薬効解析学教室）
- O-3 医薬関係者向けウェブサイト内コンテンツ「よくある質問と回答」の閲覧状況分析
星 泉（株式会社大塚製薬工場）
- O-4 RPAおよびVBA活用による医療DX推進に向けた取り組み
小川 暁生（近江八幡市立総合医療センター薬剤部、近江八幡市立総合医療センター DX推進室）
- O-5 COVID-19流行後のMRによる情報提供方法の変更が添付文書改訂情報の収集に与える影響
安島 秀友（聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部）
- O-6 妊娠と薬情報センターにおける新医薬品の相談症例
三浦 寄子（国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター、国立成育医療研究センター薬剤部）

一般演題課題研究

6月11日（日） 15:00 ～ 16:00 第1会場

一般演題課題研究

座長：高柳 理早（東京薬科大学薬学部臨床薬効解析学教室）
堀 里子（慶應義塾大学薬学部医薬品情報学講座）

- K-1 マスメディアによる「くすりの危険性」に関する報道に起因した患者相談の実態調査
今井 俊吾（慶應義塾大学薬学部、北海道大学大学院薬学研究院）
- K-2 周産期医薬品情報の創出のための基盤構築に関する研究（第一報）
酒井 隆全（名城大学薬学部医薬品情報学研究室）
- K-3 医療機関DI業務人材と業務に関するアンケート調査：2022年度JASDI課題研究班全国調査
内倉 健（昭和大学薬学部病院薬剤学講座）

一般演題

医療コミュニケーション

- P-1 外国人入院患者への対応実態に関するアンケート調査
下村 文恵 (一般社団法人くすりの適正使用協議会)
- P-2 医薬品情報源としての製薬企業のプレスリリースー COVID-19 を例にー
北澤 京子 (京都薬科大学)
- P-3 医療従事者の属性の違いと多様な副作用用語の認識におけるギャップの存在
多門 啓子 (株式会社インテージヘルスケアメディカルエビデンス事業部事業推進室医薬品情報G)
- P-4 当院における直接作用型第 Xa 因子阻害剤中和剤 Andexanet alfa 導入への取り組みについて
長岡 和徳 (湘南鎌倉総合病院薬剤部)

データベース研究

- P-5 医療ビッグデータから構築したデノスマブ誘発性低Ca血症リスク予測モデルの外部検証
池上 慶祐 (慶應義塾大学大学院薬学研究科)
- P-6 スタチンのアドヒアランスと非アルコール性脂肪性肝疾患の発症の関連性の検討
中川 千拓 (近畿大学大学院薬学研究科)
- P-7 くも膜下出血患者におけるファスジル及びオザグレルの併用における予後の比較検討
真柄 弘 (東京薬科大学薬学研究科医薬品安全管理学教室)
- P-8 関節リウマチ患者における分子標的薬の併用有無による関節破壊抑制効果に関する解析
藤川 果歩 (東京薬科大学医薬品安全管理学教室、昭和大学薬学部社会健康薬学講座薬剤疫学部門)
- P-9 保険請求情報を用いた徐放性オピオイドが開始されたがん患者における半年間の処方実態
杉村 侑紀 (京都薬科大学臨床薬剤疫学分野)
- P-10 NDB オープンデータを用いた日本におけるオピオイドの使用状況の評価
杉山 美織 (京都薬科大学臨床薬剤疫学分野)
- P-11 JADERを用いたトラマドールにおける未知の有害事象の発見
森脇 茜 (京都薬科大学臨床薬剤疫学分野)
- P-12 有害事象自発報告データベースを用いた抗精神病薬による悪性症候群の評価
広藤 咲子 (岐阜薬科大学医薬品情報学研究室)

-
- P-13 機械学習を用いた医薬品副作用データベース (JADER) からの有害事象予測結果について
南崎 和哉 (近畿大学薬学部)
-
- P-14 新規抗うつ薬における潜在的な横紋筋融解症リスク検討
平澤 孔生 (昭和薬科大学社会薬学研究室)
-
- P-15 性・年齢調整標準化レセプト出現比を用いた薬効分類群の処方傾向や地域傾向の分析
岡本 晃典 (北陸大学薬学部)
-
- P-16 レニン・アンギオテンシン系阻害薬、利尿薬、NSAID の併用と急性腎障害との関連
今任 拓也 (福岡大学薬学部医薬品情報学)
-
- P-17 JADER を用いたリツキシマブにおける未知の有害事象の発見
奥田 真友子 (京都薬科大学)
-
- P-18 bDMARDs を使用した RA 患者における細菌感染症に対する MTX の交互作用効果
太田 涼介 (近畿大学奈良病院薬剤部)
-
- P-19 JADER を用いたロキサデュスタットの安全性評価
構木 泰信 (山口大学医学部附属病院臨床研究センター、山口大学大学院医学研究科臨床薬理学講座)
-
- P-20 保険薬局薬剤師によるテレフォントロアッを活用した継続的服薬指導の取り組み
長沼 敬子 (株式会社ナカジマ薬局)
-

副作用症例報告

-
- P-21 当院の医薬品安全性情報報告書の現状と課題について
小寺 聖 (岐阜県総合医療センター)
-
- P-22 ニルマトレルビル/リトナビル併用時にタクロリムス濃度の異常高値を認めた腎移植症例
富田 猛 (神戸大学医学部附属病院薬剤部)
-
- P-23 当院における SARS-CoV-2 ワクチンと帯状疱疹の発症状況
板倉 真言 (社会医療法人財団新和会八千代病院薬剤部)
-

プレアボイド、医療安全

- P-24 当院におけるHBV再活性化の対策を行う肝炎コーディネーターへの支援
酒井 亮 (日本赤十字社福島赤十字病院)
- P-25 薬袋のデザイン変更が薬剤関連インシデントに与える効果
中村 瑠里 (大阪公立大学医学部附属病院薬剤部)

RMP (リスクマネージメントプラン)

- P-26 妊婦に関する医薬品リスク管理計画策定の実態調査
長田 幸大 (名城大学薬学部医薬品情報学研究室)
- P-27 RMP 上にある副作用の患者への確認及び情報提供について
古谷 美咲 (株式会社くすりの福太郎)
- P-28 医療機関等における医薬品リスク管理計画 (RMP) の活用状況と課題について
八田 真美子 (独立行政法人医薬品医療機器総合機構安全性情報・企画管理部)

PMS、市販後調査

- P-29 特定使用成績調査による皮膚T細胞性リンパ腫に対するベキサロテンの安全性と有効性
元浦 博之 (株式会社ミノファージェン製薬研究開発本部)
- P-30 使用成績調査の調査項目から見た今後の医薬品の製造販売後の調査及び臨床研究の在り方
谷川 雅俊 (香川大学医学部附属病院臨床研究支援センター)
- P-31 新型コロナワクチン接種者に対する投与後調査
大矢 梨央 (昭和薬科大学)
- P-32 妊婦使用薬剤の児への影響に関する市販後調査の在り方
山根 律子 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院薬剤部)
- P-33 肛門病変合併クローン病患者に対するウスチキヌマブ投与52週間の安全性・有効性解析
永野 克将 (ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部)

医薬品の適正使用

- P-34 小児L-アスパラギナーゼ投与患者におけるフェノフィブラート使用実態調査
西田 麻以 (公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院薬剤部)
- P-35 腎機能の禁忌に相当する症例の処方変更率に関連する薬剤側の要因
野々内 裕紀 (関西電力病院)
- P-36 糖尿病患者を対象とした服薬フォローアップ支援シートの試作と有用性の検討
矢原 恵美 (兵庫医科大学薬学部)
- P-37 ベンゾジアゼピン系睡眠薬削減に向けたフォーミュラリー策定と切り替え後の実態調査
下田 賢一郎 (社会医療法人寿量会熊本機能病院薬剤部)
- P-38 慢性骨髄性白血病合併妊娠における妊娠転帰とダサチニブの胎児への移行性の検討
山崎 香織 (千葉大学医学部附属病院薬剤部)
- P-39 JGAにおけるジェネリック医薬品の新記載添付文書の標準化(1) 検討結果と課題
浅田 和広 (日本ジェネリック製薬協会 (JGA) 安全性委員会)
- P-40 JGAにおけるジェネリック医薬品の新記載添付文書の標準化(2) 改訂状況からの課題
大野 公嗣 (日本ジェネリック製薬協会 (JGA) 安全性委員会)
- P-41 患者報告アウトカムを用いたウステキヌマブ導入後の潰瘍性大腸炎患者の治療効果の検討
永野 克将 (ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部)
- P-42 ゾレドロン酸使用歴がデノスマブによる顎骨壊死発現時期に及ぼす影響に関する研究
長谷川 栞 (岐阜薬科大学医薬品情報学研究室、兼一薬品工業株式会社)
- P-43 小児用アセトアミノフェン流通不安定下における成人用製剤の代替使用の実態調査
高橋 渉 (クオール株式会社クオールアカデミー・教育研修本部)
- P-44 高尿酸血症治療薬および神経障害性疼痛治療薬フォーミュラリーの導入効果の評価
美馬 朱美 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院薬剤部)
- P-45 MRに求める医薬品情報 ー病院薬剤師と保険調剤薬局薬剤師の比較ー
小日向 強 (公益財団法人MR認定センター)
- P-46 PPI・P-CABの院内フォーミュラリー導入による効果について
横山 晋一郎 (独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター薬剤部)

医薬品情報業務(病院)

- P-47 「ソトラシブ錠無償提供プログラム」における【薬のしおり】による情報提供
徳永 晃(佐賀県医療センター好生館薬剤部)
- P-48 当院においての授乳婦の薬の使用に関する情報提供体制について
中村 友美(水戸赤十字病院薬剤部)
- P-49 中規模病院における医薬品情報業務の立ち上げ
武田 千春(TMGあさか医療センター薬剤部)
- P-50 医薬品情報収集・伝達・保管方法改善の取り組みとPMDAマイ医薬品集活用
松丸 奈津美(済生会加須病院薬剤部)
- P-51 中小病院におけるDI業務の実態調査:2022年度JASDI課題研究班全国調査サブ解析
大庭 理寛(JA神奈川県厚生連伊勢原協同病院薬局)
- P-52 医薬品情報管理室における業務内容の入力システムの構築とその評価について
中川 貴弘(りんくう総合医療センター薬剤科)

医薬品情報業務(薬局)

- P-53 保険薬局薬剤師が医療従事者の問い合わせ対応に使用する医薬品情報源:記述的横断研究
鈴木 すみれ(株式会社なの花東北事業部)

医療情報システム(電子カルテ、調剤システム関連)

- P-54 兵庫県における医療機関と病院薬剤師を対象とした電子お薬手帳アンケート調査
鶴田 洋平(加古川中央市民病院、兵庫県病院薬剤師会先進的薬剤業務特別委員会)
- P-55 OTC医薬品のインターネット販売の動向調査~保険調剤薬局東日本編~
泉澤 恵(日本大学薬学部)
- P-56 疑義照会内容を診療録で多職種と共有することの有用性評価
島 千晶(京都大学医学部附属病院薬剤部)
- P-57 アントラサイクリン系抗がん剤累積投与量管理データベースの作成と使用における改善点
三浦 太郎(岡山大学病院薬剤部、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科臨床薬剤学)
- P-58 電子お薬手帳を基盤としたPHR活用による患者が飲みづらい薬の大きさの指標と閾値探索
浅野 真輝(慶應義塾大学大学院薬学研究科)

医薬品情報システム (AI、IoT 関連)

- P-59 ITを利用した中小病院薬剤師の業務分析とタスクシフティング
原 竜太郎 (川口工業総合病院薬剤部)
- P-60 演題取り下げ
- P-61 薬剤師国家試験における人工知能 (ChatGPT) の有用性および課題
佐藤 弘康 (JA 北海道厚生連帯広厚生病院)
- P-62 薬剤添付情報と電子カルテのデータを突合し副作用発現を自動検知・表示するシステム
那須 照広 (特定医療法人谷田会谷田病院)
- P-63 病棟薬剤師の業務負担軽減に向けた音声入力ツールの導入と有用性の評価
濱野 裕章 (岡山大学病院薬剤部)
- P-64 医薬品情報の収集・加工・分析における AI チャットボット活用の探索的検討
伊東 弘晃 (一般財団法人日本医薬情報センター)

地域医療、医療連携

- P-65 効率と有用性の両立を目指すトレーニングレポート作成と活用体制の構築
海老根 香里 (株式会社日立製作所ひたちなか総合病院)
- P-66 地域高齢者におけるオーラルフレイルの実態調査と関連因子の検討
荏原 俊介 (株式会社ピノキオ薬局)
- P-67 地域の薬剤師による公衆衛生プログラムの情報提供の可能性の検討
藤沢 知聡 (昭和薬科大学社会薬学研究室)
- P-68 オピオイド鎮痛薬テレフォン・フォローアップの疼痛管理に対する有用性の解析
牧野 洸太郎 (京都府立医科大学附属病院薬剤部)
- P-69 消費者の定期通院状況に応じた薬剤師によるオンライン健康相談の解析
佐山 杏子 (慶應義塾大学薬学部)

医薬品情報学の教育

- P-70 地域における医薬品情報関連業務のスキルアップを目指した DI 実例集編纂の試み
本多 立 (三重県病院薬剤師会出版広報委員会、三重大学医学部附属病院薬剤部)
- P-71 医薬品情報学研究の現状とニーズ – JDI 収録文献からの考察 –
横山 莉子 (名城大学薬学部医薬品情報学研究室)

その他

-
- P-72 医療用医薬品 PTP・SP シートへの GS1 データバーの表示及び読み取りに関する調査
八木 仁史 (独立行政法人労働者健康安全機構関東労災病院薬剤部)
-
- P-73 離散事象シミュレーションを活用した薬局薬剤師業務の最適化の検討
蒔田 篤則 (静岡県立大学薬学部医薬品情報解析学分野)
-
- P-74 グセルクマブは CD64 + 骨髄系細胞に結合すると同時に同細胞が産生した IL-23 も中和する
佐々木 絢子 (ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部)
-
- P-75 ポリファーマシーに対するスクリーニング評価の運用と現状調査
大野 裕之 (岐阜県総合医療センター)
-
- P-76 新たな医薬品情報創出のための極微弱化学発光測定法の応用
村井 ユリ子 (東北医科薬科大学薬学部)
-
- P-77 保険薬局の薬剤師を対象としたアンケート調査に基づく薬剤耐性対策の現状と課題
岡下 さくら (京都薬科大学臨床薬剤疫学分野)
-
- P-78 医薬品供給問題が及ぼす採用医薬品への影響に関する調査
門村 将太 (独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院)
-
- P-79 病棟薬剤業務で収集された処方提案の分析～中小病院薬剤師の薬学的ケアへの取り組み～
松尾 しのぶ (医療法人社団おると会浜脇整形外科病院薬剤科)
-
- P-80 小児用経口薬の与薬調製手技習得のための効果的な情報提供方法に関する検討
青戸 純香 (京都府立医科大学附属病院薬剤部)
-
- P-81 OTC 医薬品情報のデジタル表示化に伴う情報デザイン検討のための基礎調査
出水 海里 (筑波大学大学院デザイン学学位プログラム)
-